

「ふるさとの小径を行く」刊行のことば

月館町教育委員会教育長 遠藤宗一



わたしたちのふるさと

は、その名も町の中央に
そびえる月見館から起こ
ったといわれ、数千年に

わたって先祖が宮々として築きあげてきた。地味

豊かにして文化の香り高き土地であります。

このふるさとも、近来、大きく変貌しつつあり
ます。耕土は広くまとまり、四季の彩りをそえた
周囲の山々は常緑樹の色を濃くし、縦横に走る道
路に沿って、住宅や工場も数を増してきていま
す。

こうした中であって、最近、文化財保護につい
ての関心が高まり、身近な史跡を尋ね、先人の生
活や願いを知ろうとする活動がみられることは大

変喜ばしいことであります。

月館町教育委員会では、永年にわたる町史研究
の中から、町内の史跡を中心として先人たちの生
活や信仰の姿、開拓に尽くした人々の事績をまと
めた小誌を出版することにいたしました。

この小誌によって、月館町にはどのような史跡
・文化財があり、それらは私たちに何を語りかけ
てくれるのかの一端がわかることでしょうか。

本誌編集に当って、執筆や資料提供など多くの
町民の皆さんに力添えをいただきましたことに厚
くお礼を申しあげて刊行のことばといたします。